

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 3 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 5 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 6 問題は、表紙の裏を1ページとし、6ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 7 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。

受検番号

一 次は、タンポポについて書かれた【本の一部】と【資料A】、【資料B】です。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

【本の一部】

(著作権保護のため削除)

(注) 指標||物事を判断したり見当をつけたりするための目印。

(稲垣 栄洋 『植物はなぜ動かないのか』による。)

【資料A】

(著作権保護のため削除)

た だ た え こ 総監修
(多田 多恵子)
『大自 然 の ふ し ぎ 植 物 の 生 態 図 鑑』による。)

【資料B】

(著作権保護のため削除)

ほ しの よしのぶ 監修
(星野 義延)
『田んぼの植物なるほど発見!』による。)

1 次の【表】は、西洋タンポポと日本タンポポの生育地について、【本の一部】、【資料A】、【資料B】に書かれている内容を整理したものです。【表】の I と II に当てはまる適切な言葉を、それぞれの文章中から抜き出して書きなさい。

| 【表】 | 【本の一部】 | 【資料A】 | 【資料B】 |
|--------------|---------------|-------|-------|
| 西洋タンポポ (外来種) | I | 都市環境 | 都市部 |
| 日本タンポポ (在来種) | 自然の残った田園地帯や郊外 | II | 田園部 |

2 【本の一部】では、日本タンポポの種子の散布について、どのように書かれていますか。書かれている内容を【資料B】の「③種子の散布」の書き方を参考にして、解答欄の「在来種のほうが」という書き出しに続けて書きなさい。

3 【本の一部】の——線部aについて、この調査では、何を調べることで、どのようなことがわかりますか。書きなさい。

4 【本の一部】の——線部bについて、日本タンポポがこのような「戦略」をとっているのはなぜですか。その理由を七十字以内で書きなさい。

5 【資料B】の見出しの「タンポポは戦争しているの?」という問いに対する答えを、【本の一部】の内容をふまえて、理由とともに書きなさい。

二

【本の一部】

ひろみさんは、【本の一部】を読んで、わかったことや考えたこと、グループでの交流を通して大切だと思ったことなどを【ひろみさんのノート】にまとめています。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。（【本の一部】の1から6は、段落の番号を表します。）

（著作権保護のため削除）

解決したい課題

見出しの「自分と対話し言葉を探す」とはどのような意味か考える。

注目した言葉や表現

「深い対話」

- ① 自分の中に埋もれている暗黙の知を掘り起こしながら対話することで、深い対話ができる。
- ③ 対話を深めるための工夫：自分自身と対話する関係を対話中にもつくる。 II a
- ⑥ 対話力：相手と話している文脈は維持しながらも、自身の経験知の深みに降りていくという二つの作業を同時に往う能力のこと。
より高いレベルの対話力：相手の経験世界にまで思いを馳せること。

課題についてわかったことや文章を読んで考えたこと

「自分と対話する」とは、自分の内面と向き合うことであり、自分とも相手とも対話することで、より深い対話になるということがわかった。
優れたコミュニケーションのためには、対話力を高めることが大切だと思う。

グループでの交流を通して大切だと思った言葉や表現

「浅い会話」

- ① すぐに言語化できる事柄だけを話している。
- ③ 相手とのその場の会話に意識の全体量の十を使ってしまう。
- ④ 現在流れている会話の流れをひたすらつないでいるだけ。
言葉があまりに少ない：微妙な感覚を言葉にしにくい
言葉をこねくり回す：自分の感触への問いかけが足りない

「心の感触」

- ⑤ 言葉にしにくい「心の感触」をあきらめずに辛抱強く持ち続ける精神的な強さが、深い対話をもたらす。
- ⑥ 相手が自分自身の経験を振り返り、微妙な心の感触を言葉にする作業を促し、それにつき添う。
：相手に、自分自身に向き合うことができるような b
ことで作業を助けることができる。

グループでの交流を通してわかったこと

「言葉を探す」とは、簡単に言葉にならないことであっても、心の感触にびったり言葉を見つけたる努力を続けることであり、「自分と対話する」ためには「言葉を探す」ことが大切だとわかった。
筆者が述べている「コミュニケーションの優れた形」とは、

だどわかった。

1 【ひろみさんのノート】の a に当てはまる、——線部と同じ内容を表す別の言葉を、【本の一部】の文章中から二十字以内で抜き出して書きなさい。

2 【ひろみさんのノート】の b に当てはまる適切な言葉を五字以内で書きなさい。

3 2 段落について説明したものととして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1 段落の内容を受けて新たな問題を提起し、読者の関心を高めている。
- イ 1 段落の内容と対立する意見を示し、読者に異なる視点を与えている。
- ウ 1 段落の内容に関連する具体的な例を示し、読者の理解を促している。
- エ 1 段落の内容を支える根拠を明らかにし、読者への結論を示している。

4 【ひろみさんのノート】の c に当てはまる適切な言葉を七十字以内で書きなさい。

5 【本の一部】に書かれている「自分と対話し言葉を探す」ということについて、あなたが考えたことを、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【本の一部】から言葉や表現を引用して書くこと。

条件2 原稿用紙の正しい使い方にしたが、百字以上、百四十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① 敵しい態度でノゾむ。
- ② セイケツなハンカチを用意する。
- ③ 平和がエイキユウに続くことを願う。
- ④ 彼は的をイた質問をした。
- ⑤ 日光をアびる。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 活動の源泉は休養にある。
- ② 決定を班長に委ねる。
- ③ 彼女の存在はチームにとって頼もしい限りだ。
- ④ 円熟した演技を見せる。
- ⑤ 傾斜の緩い坂道を登る。

3 次の文を読んで、——線部「どうしても」と修飾・被修飾の関係にあるものを、~~~~~線部aからdまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(著作権保護のため削除)

4 次の文は、「古典の文章の冒頭の部分」とその【現代語訳】です。これらを読んで、後の①と②の各問いに答えなさい。

【古典の文章の冒頭の部分】

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらはす。

【現代語訳】

祇園精舎の鐘の音には、この世のすべては絶えず変化していくものだという響きがある。沙羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰えるものであるという道理を表している。

① ——線部「花の色」と対になっている部分を【古典の文章の冒頭の部分】の中から抜き出して書きなさい。

② 【古典の文章の冒頭の部分】の作品名を漢字四字で書きなさい。